

歯科材料 06 歯科用印象材料
一般医療機器 歯科複模型用寒天印象材 JMDN 70890000

タイコゲル

【禁忌・禁止】

本品に対して、過敏症の既往歴のある歯科従事者及び患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

〔形状〕

ゲル状（濃縮タイプ）のハイドロコロイド

〔成分〕

プロピレングリコール、寒天、精製水、ケイ素、保存剤、染料

〔原理〕

水を加えて加熱することにより溶解し、冷却によりゲル化する。

【使用目的又は効果】

複模型の製作

【使用方法等】

本品1に対し水2を加え、湯煎にかけて88～91℃で約30分加熱し、均一になるまで攪拌、溶解する。その後、52～57℃まで冷却した後を使用する。

以下に代表的な溶解手順を示す。

- オートデブリケーター（3～5ガロン）を使用する場合
 - デブリケーターのタンクに、室温の水1ガロン（約3.8L）を入れる。溶解プロセスを早めて操作時間を節減するため、約50℃の湯を使用することができる。
 - デブリケーターのスイッチを入れる。
 - 包装容器内の本品の全量1ガロン（約4.5kg）をタンクに入れる。
 - さらに室温の水1ガロン（約3.8L）を加える。コロイドが水と混和すると、徐々に柔らかな稠度のペーストに変化する。
 - スイッチを入れて加熱溶解を開始する。溶解及び保温・注入は下記の温度で行うことを推奨する。

溶 解	88～91℃
保温・注入	52～57℃

注：オートデブリケーター以外の容器を使用する場合は、稠度を調整しながら水を加えること。溶解温度及び保温温度の維持に留意すること。

- 本品をごく少量使用する場合

本品1に対して、水2を加えて混和する。このとき、室温の水を使用し、湯は使用しないこと。例えば、本品1カップ（100g）に対し水2カップ（169mL）となる。これを湯煎にかけて軽く加熱し、3～4分間頻りに攪拌した後、本品の注入に適した温度になるまで冷却する。

〔使用方法に関する使用上の注意〕

- 本品を採取した後は、乾燥を防ぐため、直ちに封をすること。
- 直火にあてて溶解しないこと。
- 本品と水を混和する際、十分に攪拌し、水とコロイドが分離していないことを確認してから使用すること。
- 本品を再使用（加熱溶解）する場合は、通常は水を加える必要はない。使用したタイコゲルを水洗いした後に表面に残留している水分で十分であるからである。

【使用上の注意】

〔重要な基本的注意〕

- 本品の使用により発疹などの過敏症状が現れた場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談すること。
- 本品が目に入らないように注意すること。目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄し、眼科医に相談すること。

【保管方法及び有効期間等】

室温で保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 東京歯科産業株式会社
電話番号 03-3831-0176(代)
製造業者 シーエムピー社（タイコニウム事業部）
(CMP Industries LLC)
国名 米国